

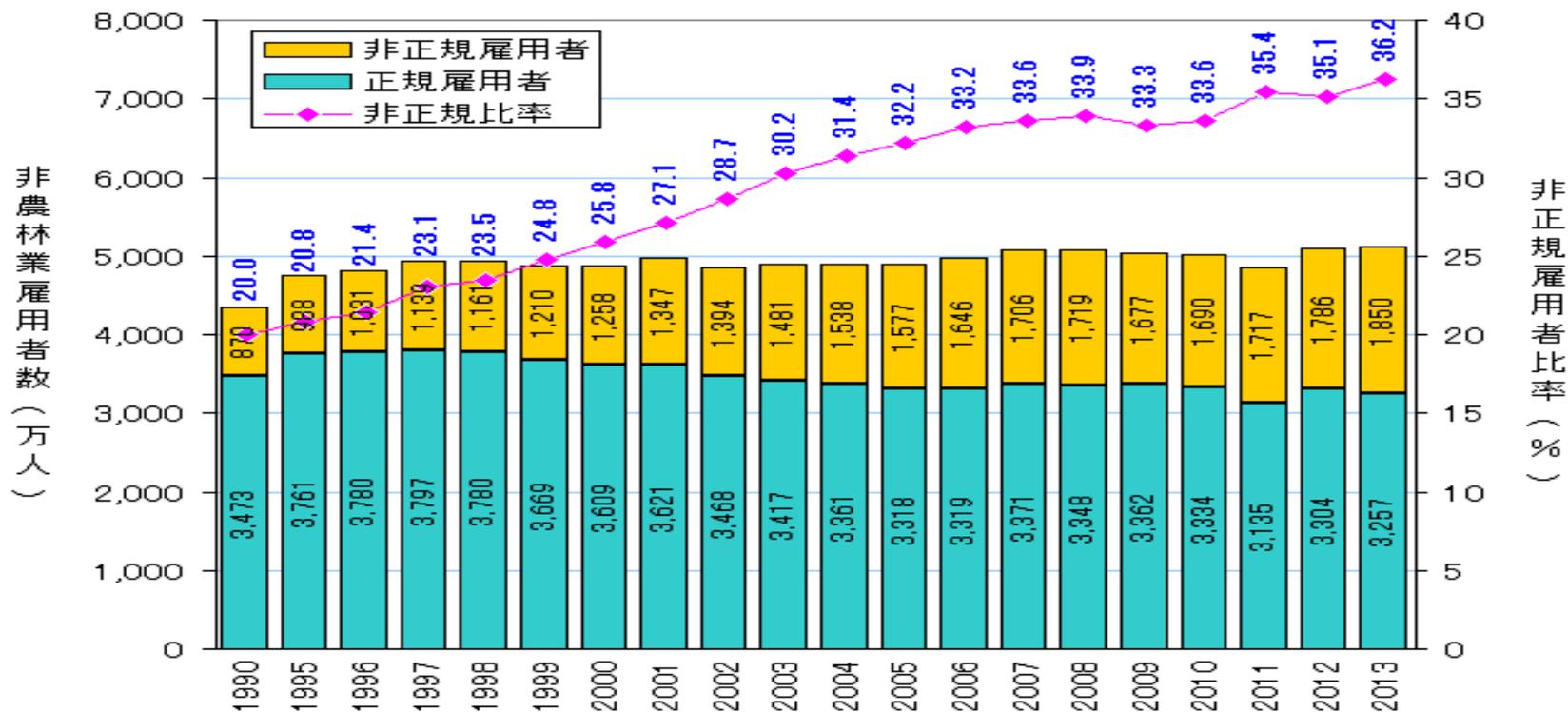
自治体の非正規職員の実態 (2012自治労調査結果より)

明治大学寄付講座
2013.6.4

自治労 北川啓子

労働者の36.2%が非正規雇用

正規雇用者と非正規雇用者の推移



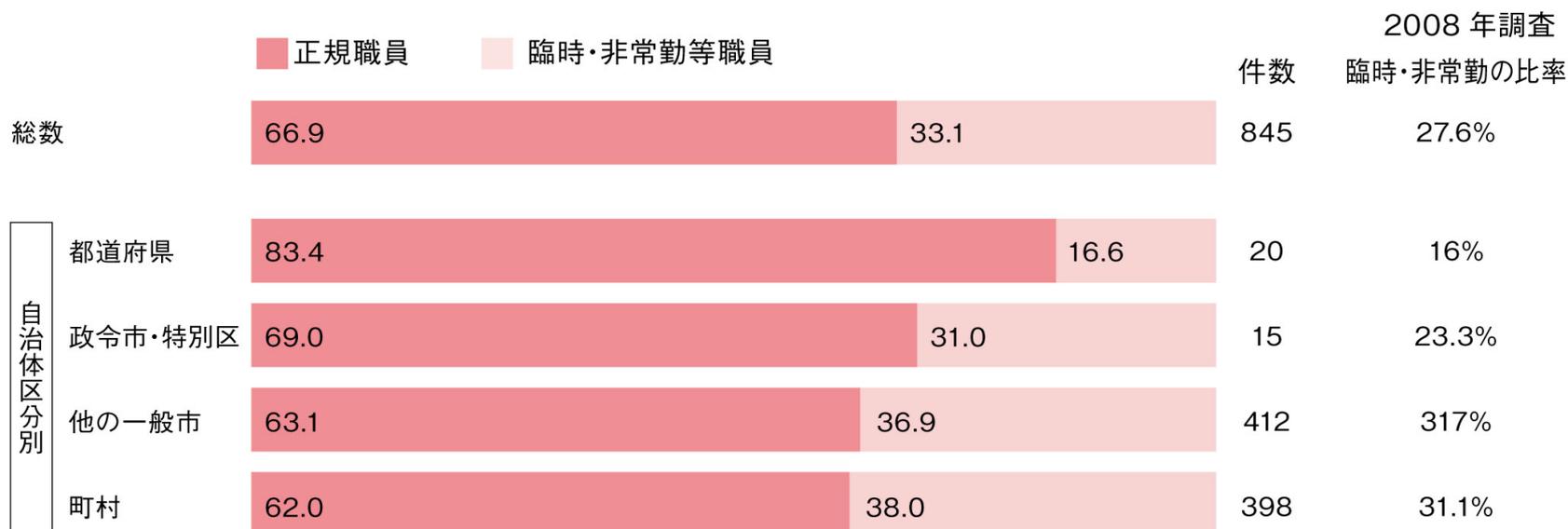
(注) 非農林業雇用者(役員を除く)が対象。1～3月平均(2001年以前は2月)。非正規雇用者にはパート・アルバイトの他、派遣社員、契約社員、嘱託などが含まれる。2011年は岩手・宮城・福島を除く。

(資料) 労働力調査

自治体職員の3人に1人が非正規職員

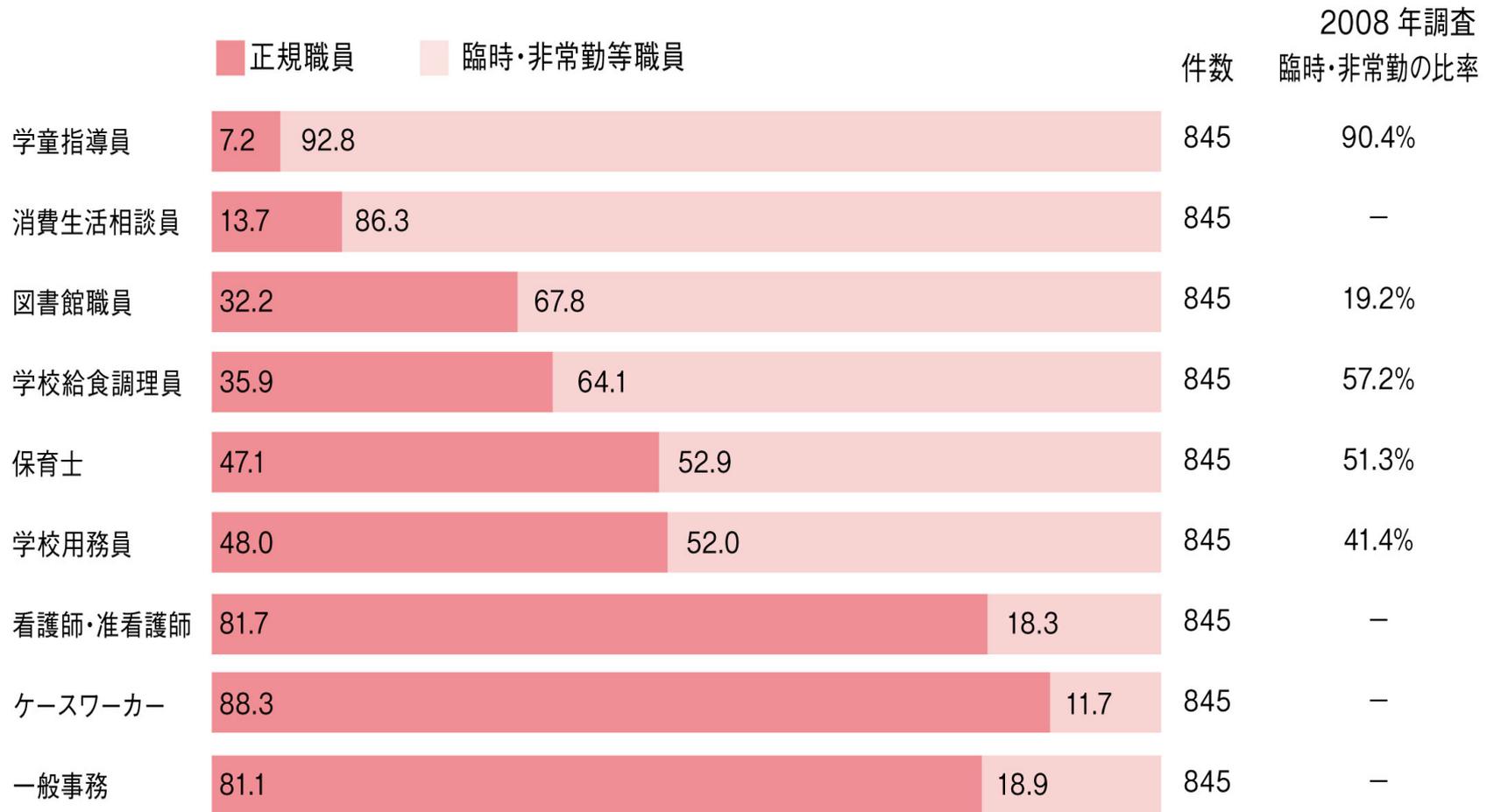
▶ 臨時・非常勤等職員の比率

一般市では36.9% 町村では38%



▶ 職種別の臨時・非常勤等職員の比率

臨時・非常勤が行政サービスに必要不可欠な存在になっている



多くの非正規職員が 年間賃金200万円以下

▶日給・時給の賃金分布

時給800円台が最多層



▶月給の賃金分布

最多層は14万円～16万円未満

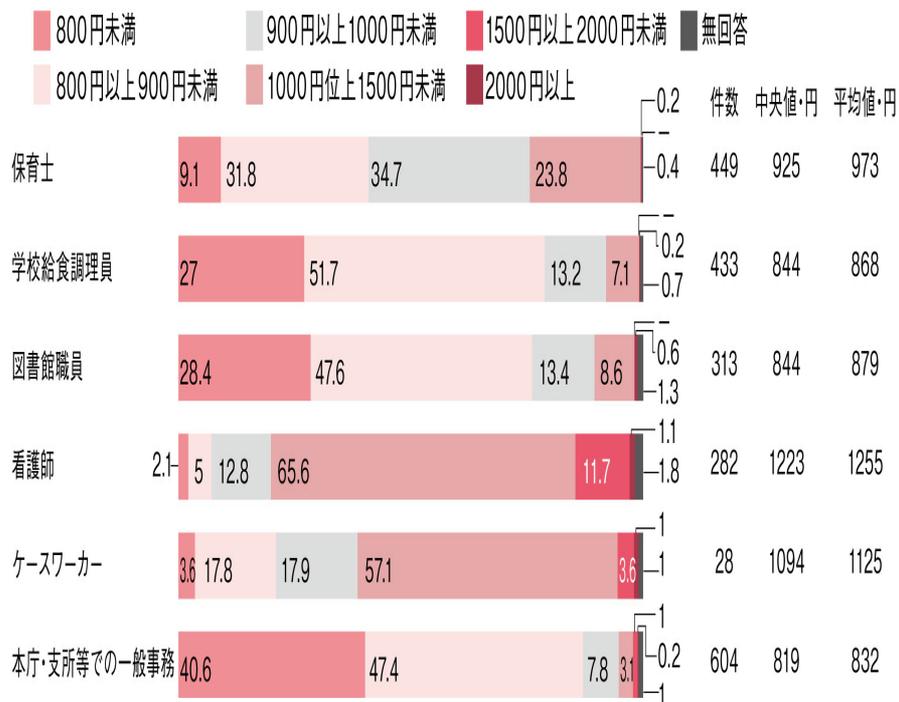


職種別の賃金・労働条件

高卒初任給相当の賃金を下回る職種も！

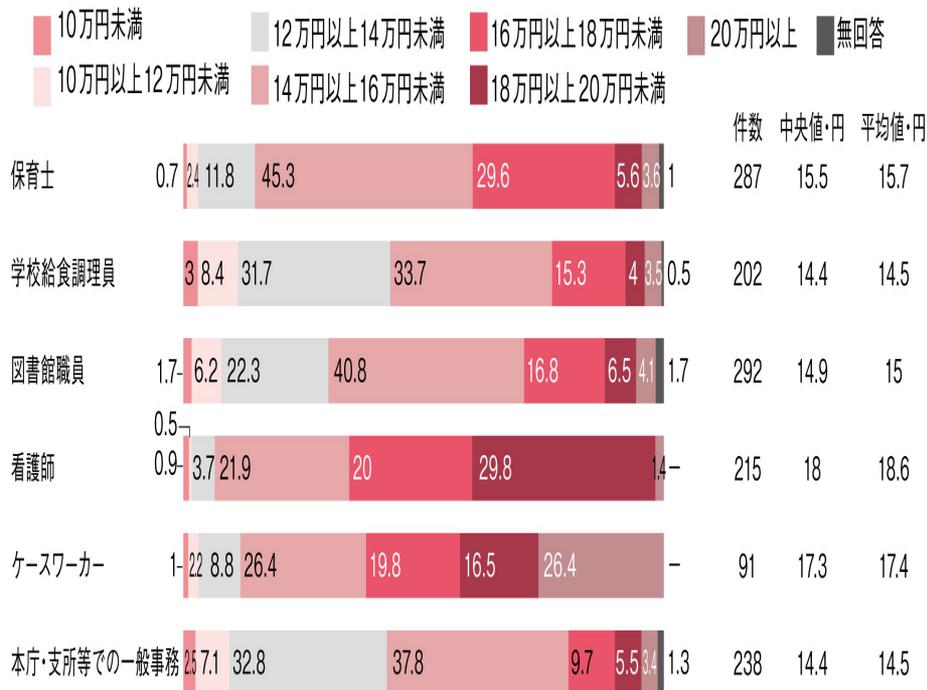
▶雇入れ時の時給

一般事務819円、学校給食844円、図書館844円、保育士925円



▶雇入れ時の月給

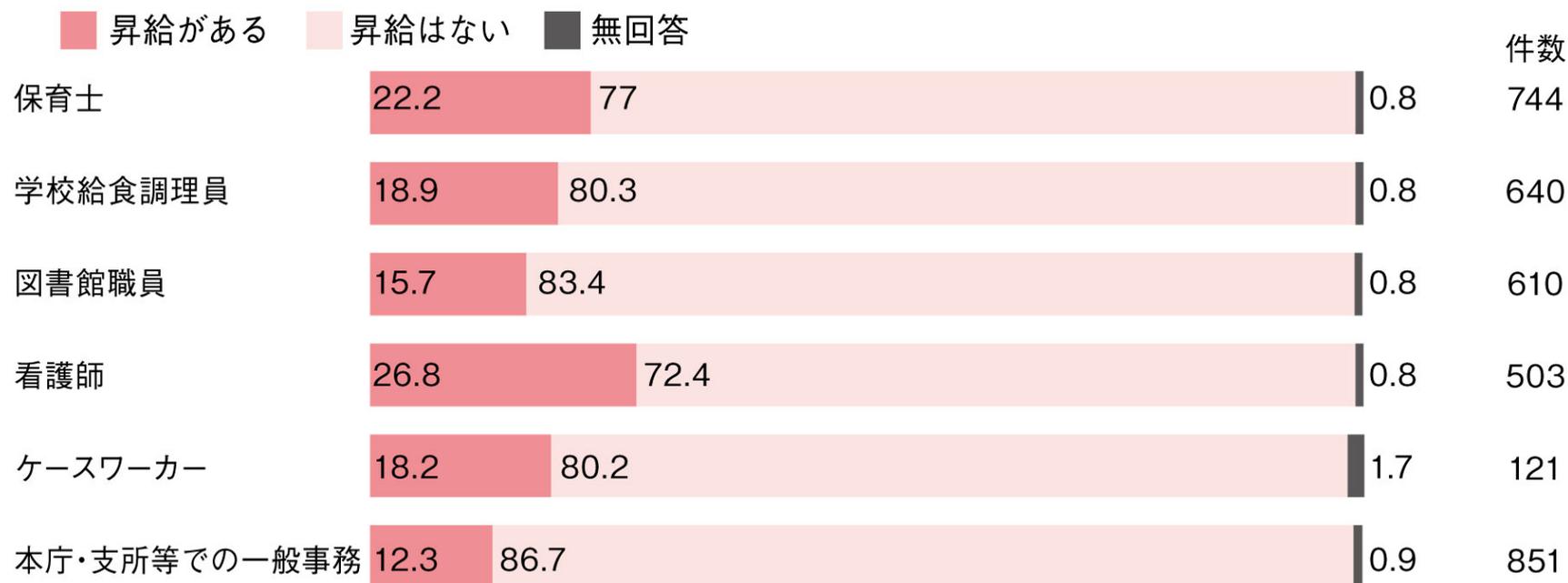
保育士、学校給食、図書館、一般事務の最多層は14万円～16万円未満



何年働いても同じ賃金！

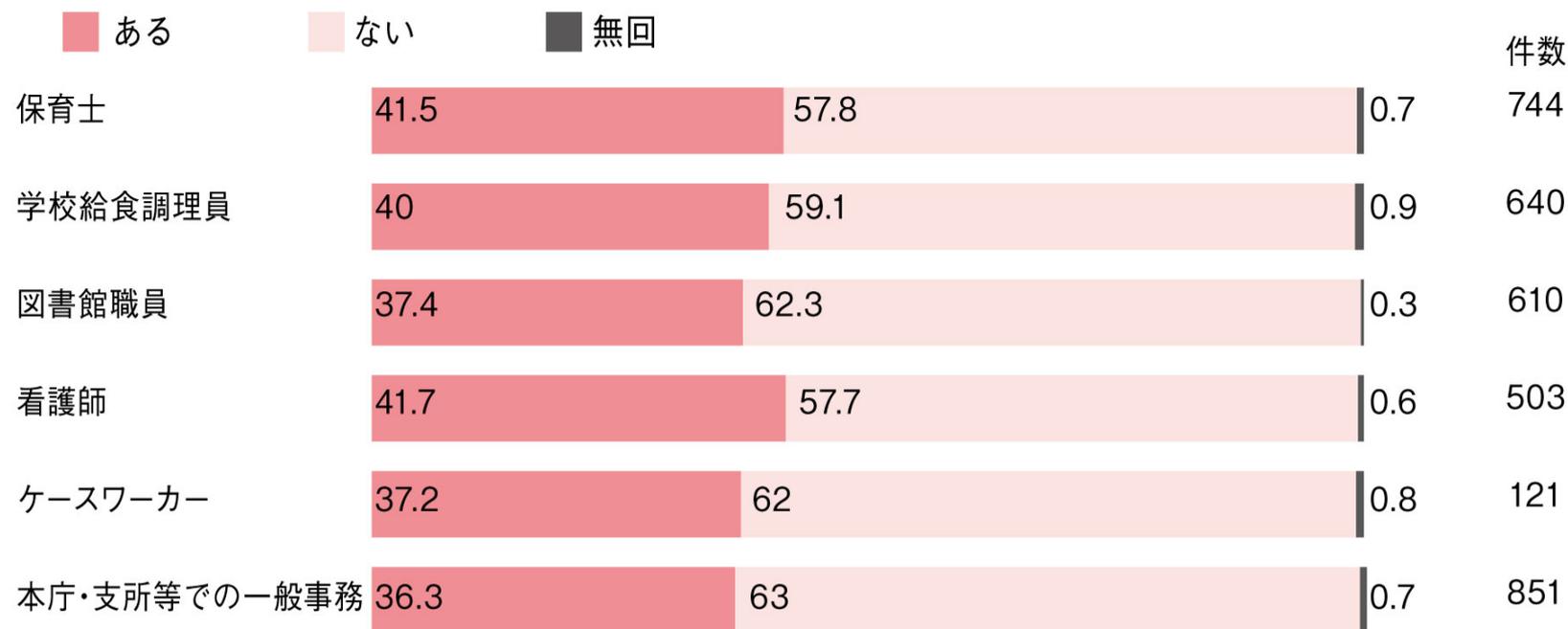
▶昇給制度の有無

昇給制度のある自治体は2割前後、7～8割の自治体で昇給はない



▶一時金（期末手当等）の有無

支給ありは3割～4割前後、なしが6割前後



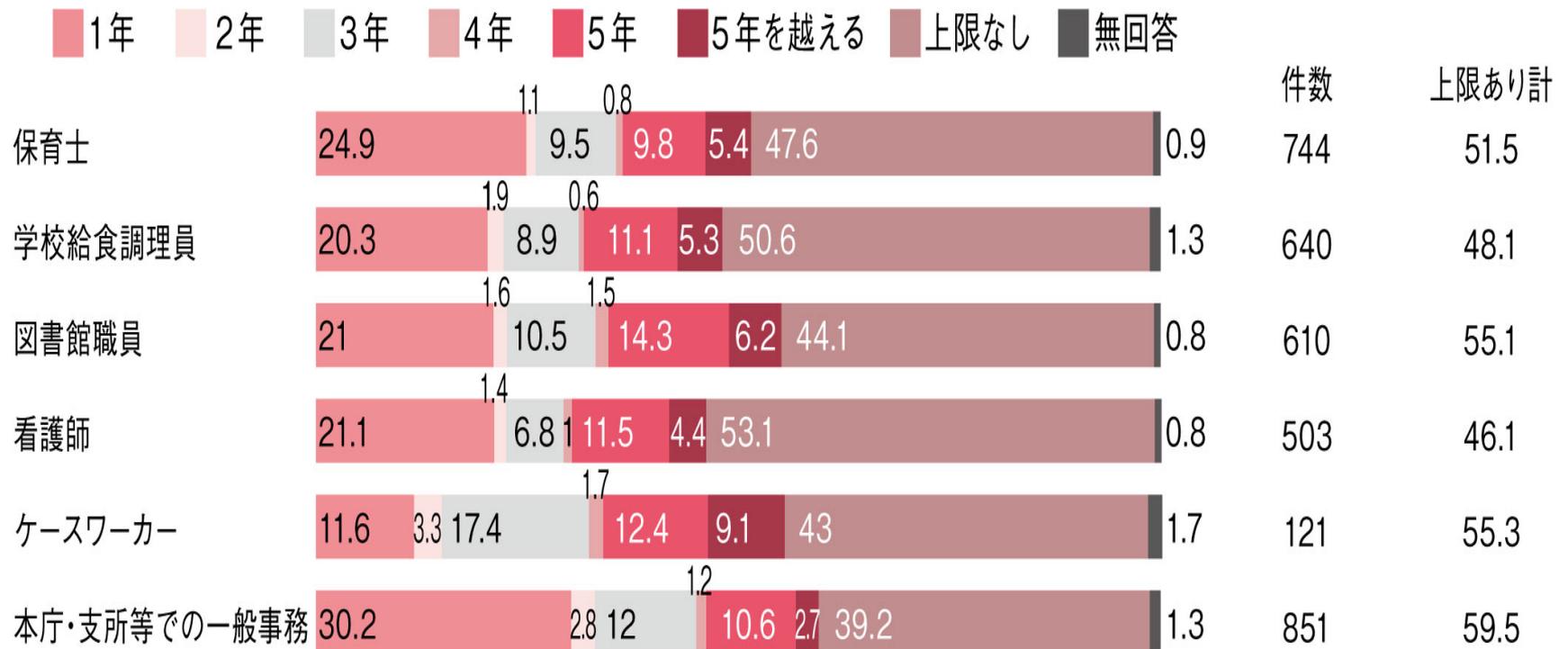
(注) 本調査での一時金が「ない」には、毎月の基本給に一時金相当分を月割りし報酬加算している場合がある。

通勤費の支給もない自治体が2割以上

常に雇止め(クビ!)の不安

▶雇用年数の上限

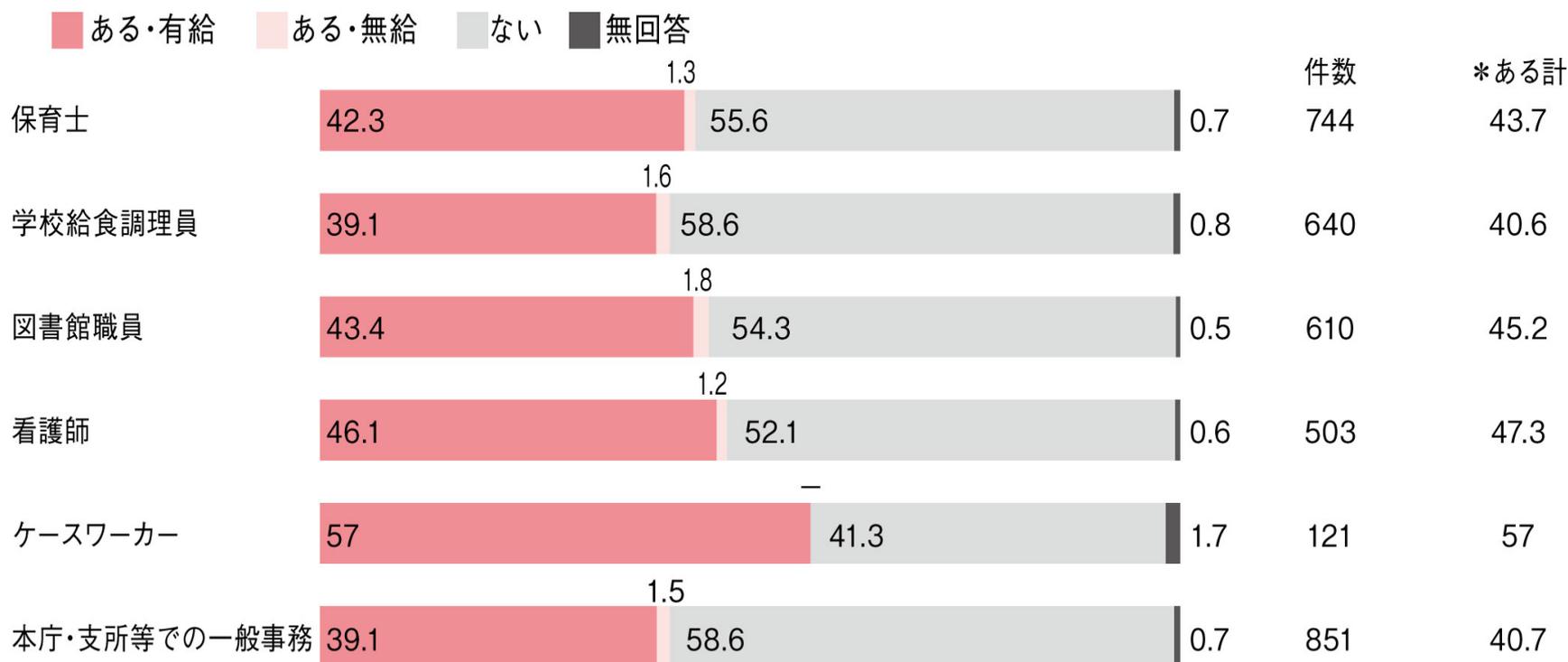
4割～5割の自治体で「上限をもうけていない」



夏休みがない！

▶夏期休暇

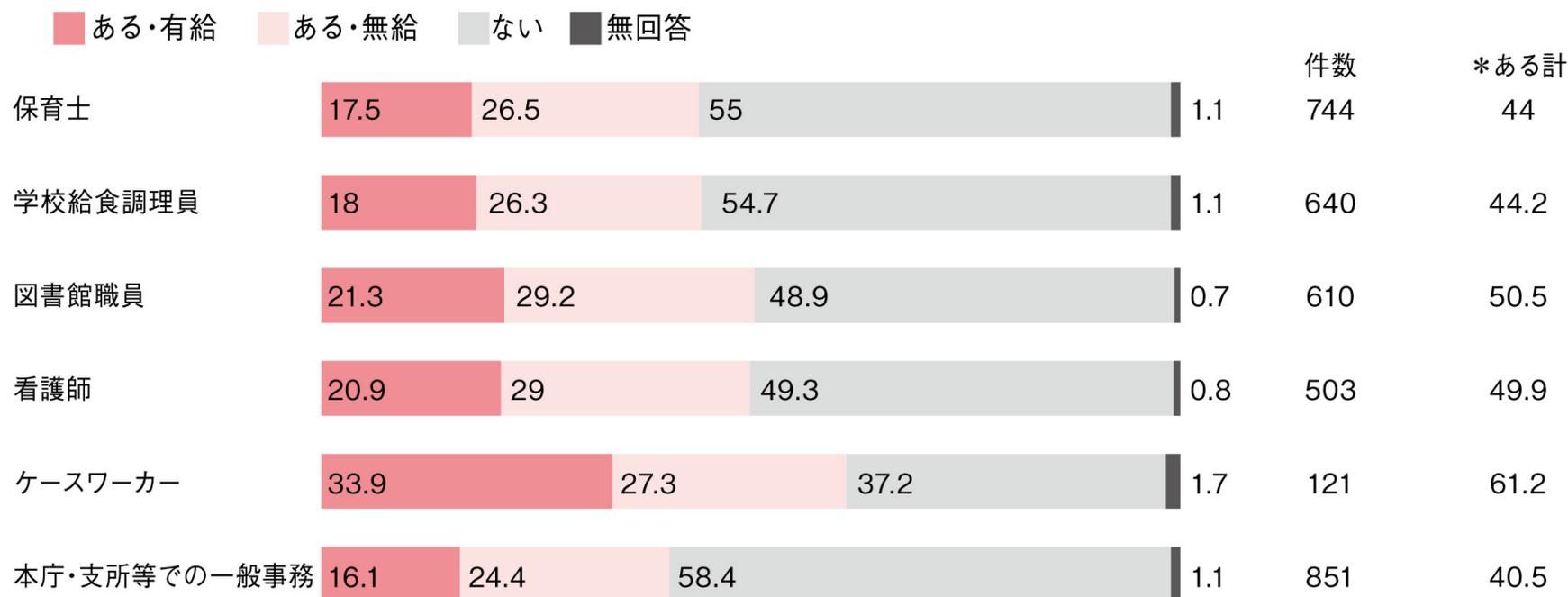
夏季休暇は、「ある」が4前～5割



病気になっても休めない！

▶私傷病休暇

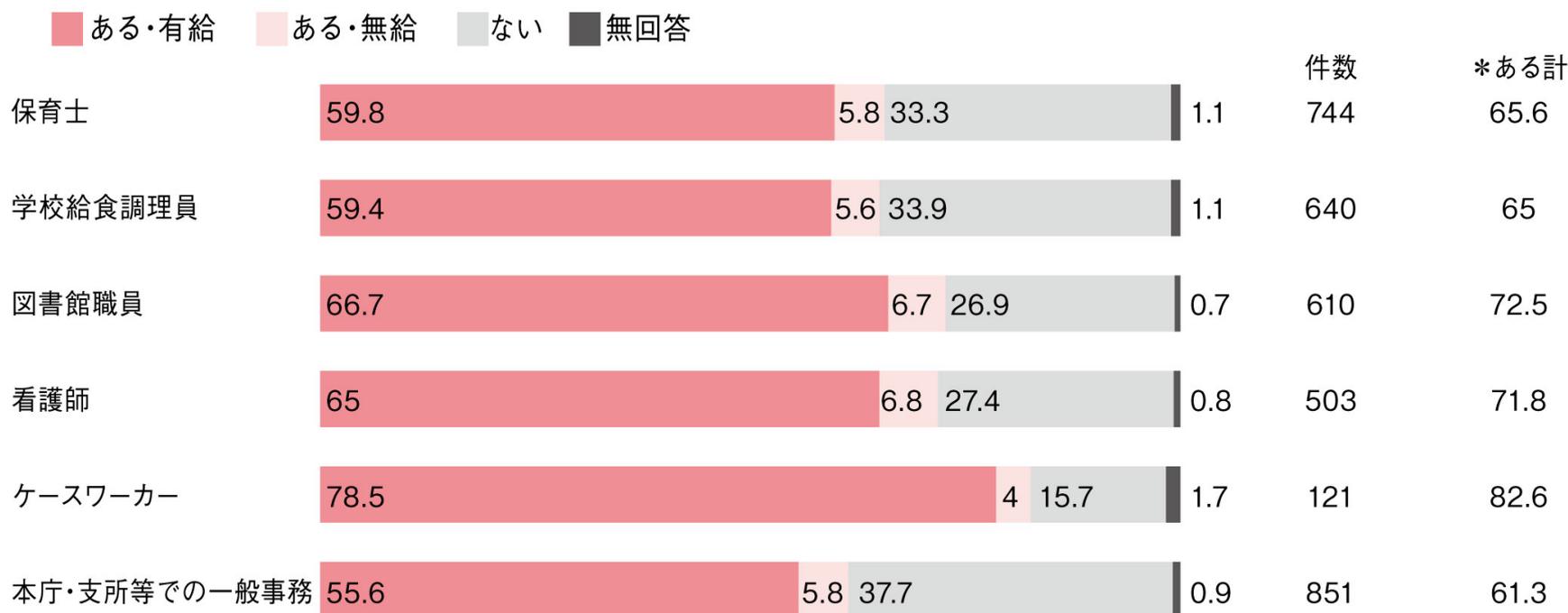
「ある」は4割～6割 うち有給は2割前後



家族に不幸があっても休めない！

▶ 急引き休暇

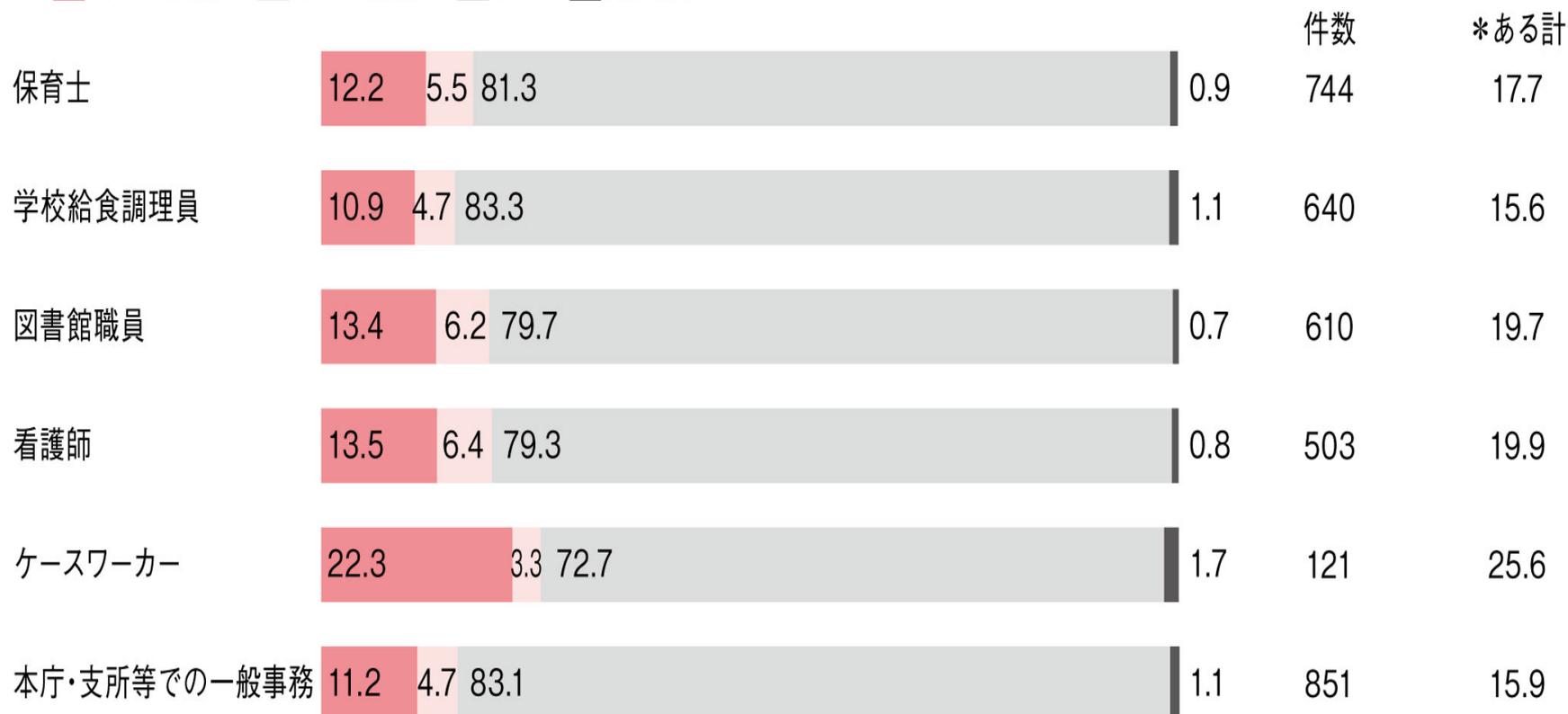
「ある」が6割前後 5職種で「ない」が2割～3割



新婚旅行にも行けない！

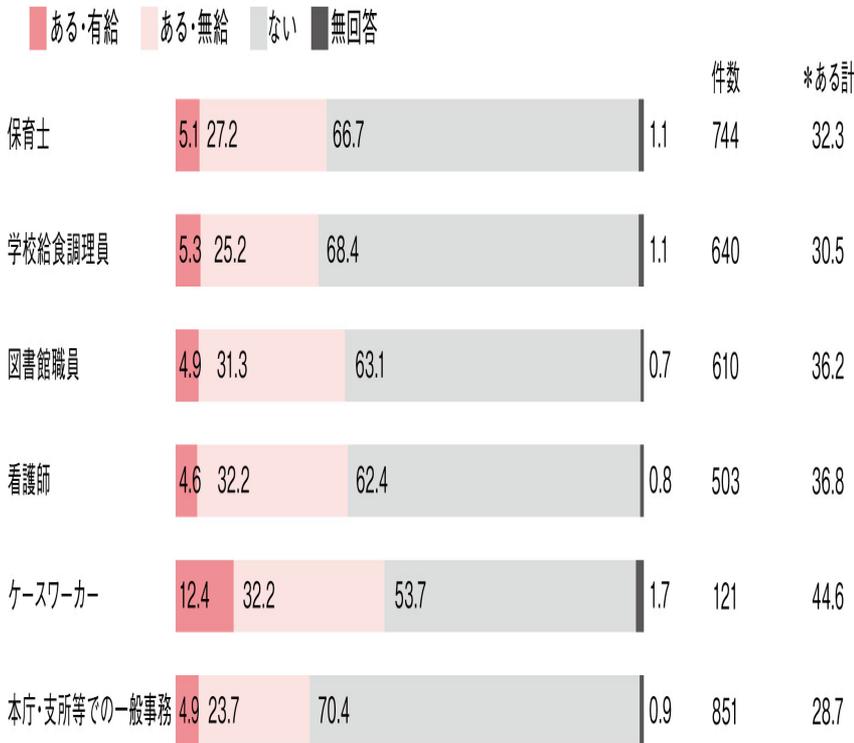
●結婚休暇

■ある・有給 ■ある・無給 ■ない ■無回答



育児ができない！

●育児休暇



●子の看護休暇

